



# 東京都社会保険労務士会 千代田統括支部 会報

発行人 千代田統括支部長 段下 正志

事務局 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-2-10-206

段下正志事務所内 ☎03(3288)0354

URL=<http://www.sr-ccs.com>



二重橋(千代田区)

撮影:広報委員 市村 公頼

- 年頭のご挨拶
- 労働・社会保険無料街頭相談会
- 臨時労働保険指導員の感謝状贈呈式
- 第5回研修会
- 第6回研修会
- 勤務等部会主催情報交流会
- I T委員会アンケート結果報告
- 新規入会者オリエンテーション
- 管外研修旅行
- 千代田統括支部の選挙結果
- 第6回親睦ボウリング大会
- 政治連盟だより
- 新入会員情報
- あとがき

# 年頭のご挨拶



統括支部長 段下 正志

新年明けましておめでとうございます。

さて、社会保障と税の一体改革に伴い、消費税率が昨年4月から8%に引き上げられ、さらに今年10月から10%へ引き上げ予定でしたが、18か月先延ばしになりました。これに伴い、「一体改革」にある年金受給資格期間を25年から10年に短縮するという改正も延期されることになりました。

年金の加入期間が短くて受給資格がない方々からよく相談を受けることがあります、その都度「10年加入すれば支給されるようになりますよ」と説明してきました。この改正を実現するためには300億円の予算が必要なため、「消費税が10%になれば・・・」と条件付きで話をしていますが、何とも肩透かしを食らった気分です。

年金保険料の後納制度まで活用してこの改正を心待ちにしていた方々を落胆させないためにも、政府には是非善処していただきたいものです。

年頭から私の気になっている年金改正を取り上げましたが、昨年末に念願の社会保険労務士法第8次法改正も成立しましたので、社会保険労務士の業界にとっても平成27年がさらに素晴らしい年であることを祈願しております。



開業部会長 味園 公一

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、年末年始休暇をゆっくり過ごされ、心身ともにリフレッシュされたこと

と存じます。

昨年4月開催の講義から3巡目に入りました実務修習セミナーも、各回40名前後の皆様にご参加いただき盛況に実施しております。これも参加者の資質向上に対する取組姿勢のお蔭と感謝しております。

また、中央労働基準監督署及びハローワーク飯田橋に掲示する開業会員名簿（名札）の掛け替えを12月に実施しました。今後は一定期間毎に作業が行えるよう、次期の開業部会に申送りを行います。

現メンバーでの開業部会の運営は、残り3か月ほどですが、2期にわたる開業部会での経験・反省点等を次期部会のメンバーに引き継ぎ、今後も開業会員のために事業運営をしてまいります。

終わりに、会員の皆様のご健康、ご多幸、ご活躍を祈念申しあげまして年頭の挨拶いたします。本年も、よろしくお願ひ申しあげます。



政治連盟支部会長 橋本 敬司

明けましておめでとうございます。

平成26年11月14日、念願の社会保険労務士法第8次法改正が可決・成立しました。しかし、その実施

にあたっては、参議院の厚生労働委員会において、次のような付帯決議がありました。

- ①能力担保のための研修体制の充実
- ②補佐人制度はすべての社会保険労務士が対象であることから、社会保険労務士国家試験の内容の見直しが必要
- ③全国社会保険労務士連合会の監督責任を強く求める

さらに、今後の法改正については「労働政策審議会」の審議を経るよう提言するものでした。これらることは、今後の私たち自身の日々の努力によってのみ職域の拡大・維持が実現されるものであることを意味します。したがって、倫理研修の強化、研修の充実化等が必要になります。また、具体的な法改正に向けては官僚・学者・使用者・労働者への説明責任も重要です。

政治連盟は、法制定50周年に向けて、開業・勤務等すべての社会保険労務士が望む具体像を本会とともに構築し、これを次期法改正のレールに乗せる努力をしてまいります。



勤務等部会長 永井 常男

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申しあげます。

昨年は、企画小委員会の皆様の積極的な活動により、勤務等部会主催の研修会のほか、支部勤務等会員の交流の場をさらに広げる環境づくりの一環として情報交流会を開催しました。

情報交流会には52名（勤務:31名、開業等:21名）の方に参加をいただきました。開催に当たっては、東京都社会保険労務士会からの予算の交付もあり、実りある交流会ができたものと思料しております。

当支部の勤務等会員は、支部会員の中でも半数を超えております。しかし、研修などによるさらなる資質の向上を図るにしても、どうしても勤務先の会社の都合で研修に参加できないなどの問題を抱えておりますが、勤務先の会社等での社会保険労務士への認知や支部活動への理解を得るためのより積極的に活動をしてまいります。

今年も会員の皆様のご支援をよろしくお願ひ申しあげます。

# 平成26年度 労働・社会保険無料街頭相談会

平成26年10月2日(木)、東京メトロ有楽町駅コンコースにおいて、千代田統括支部主催の労働・社会保険無料街頭相談会を開催しました。今回は、行政書士会千代田支部との初めてのコラボレーションもありました。年金、相続、労務問題と幅広く相談を受け、行政担当官、行政書士、支部会員と協力し合っての対応でした。

皆様、ご協力ありがとうございました。



## 街頭相談体験記



上野 英樹 (神田・開業)

開業して3年、最初は自分の仕事を見つけるのに精一杯でしたが、最近はようやく時間もでき、これからはこの業界での知己も得たいと思っていた矢先のことでした。参加した必須研修会の席で、広報委員長から街頭相談員募集のご案内をお聞きし、最初の一歩として参加しました。

こんな状況でしたので、社会保険労務士として

不特定多数の方を前にサラサラと相談に乗ることができるか大変不安でした。しかし、行政担当官の方をはじめ、支部役員の皆様やベテランの先生方の優しくも心強いアシストがあり、最後まで何とかやり通すことができ、深謝いたします。

相談内容としては、やはり年金に関するものが多くかったです。しかし、1件だけ競業避止義務に関する労務問題があり、現在、特定社会保険労務士を目指している者としては、今後の目標と意義を再認識できた内容でした。

次回以降もまた機会があれば是非参加させていただきたいと思える、とても良い経験でした。



加藤 友子 (神田・開業)

街頭相談は年金が多いと伺いましたが、私がお受けしたご相談も年金関係でした。「障害年金の受給が将来の老齢年金に影響するか」とのご相談の女性は、精神面の障害で休職中であり、障害者手帳をお持ちのことでした。老齢年金が目減りする性質ではないこと、障害者手帳があっても年金の障害認定の基準と一致するとは限らないこと、1年6か月を経過していたため、認定日にかかる医師の診断書をもらうべく、まずは年金事務所で必要書

類の確認を勧めました。一度は年金をもらっても、元気になって働いて老後を迎えるという真面目なお人柄に、年金受給はもちろん、長い人生を心豊かに過ごされるようご病気の回復をお祈りし、笑顔でお帰りいただいた安堵しました。

午前中の相談者は多くありませんでしたが、諸先輩方の呼び掛けでお立ち寄りいただきました。また、年金事務所の方が同席してサポートいただきましたことに、感謝申しあげます。

社会貢献並びに社会保険労務士の認知度向上のためにも今後も尽力したいと思います。

## 臨時労働保険指導員 感謝状贈呈式

この度は図らずも、東京労働局長より、20年間、労働保険の年度更新事務取扱いのお手伝いをさせていただいたお墨付きを頂戴し、面映ゆく存じております。

そもそも当初、私は台東支部に属していたおり、ある先生を通じて、社会保険労務研究会の私に年度更新の手伝をするようにとのことから端を発して、知らず知らずの間に20年の歳月が流れ過ぎてしまいました。私にとりましては修行の場であり、東京労働局の方々や諸先生のご教導はありがたく感謝に絶えないしだいです。

未だ至らぬ身ではあります。今後とも皆様方のお力添えを賜りつつさらに成長させていただきたく拙い受彰の感想といたします。

(神田・開業: 吉田 信義)



(土屋氏、吉田氏、堀氏、大城氏)

### 【労働局表彰】(敬称略)

(20年) 吉田 信義

(10年) 堀 雅美 土屋 雅子 大城 敦子

### 【労働基準監督署感謝状】(敬称略)

(3年) 中尾 美香 濱野 行雄 山崎 博幸 前川 由香

# 平成26年度 第5回研修会

～勤務等部会主催研修会～

開催：平成26年10月16日(木)

場所：東京薬業健保会館



講師

双日株式会社 人事総務部  
人事・ダイバーシティ推進課  
勤務社会保険労務士

長島 裕子 氏

最初に、本日のテーマである「ダイバーシティ」が「多様性」を意味すること、また個々のさまざまな違いを尊重し、多角的に活かすことがダイバーシティの基本概念であるとの説明がありました。

次に、講師の勤務先の会社におけるダイバーシティの取組みについて、①女性活用推進、②障害者支援、③WLB(ワークライフバランス)の3つのコンセプトに分けてご紹介いただきました。なかでもWLB施策のうち子育て支援として、2歳6か月まで育児休職を延長したこと、また小学校3年生までの短時間勤務や各種休暇制度・費用補助制度の導入により、一律に決められた期間を休むのではなく、個々の事情に合わせて復職時期や制度を選択する人が増えているとのことです。

さらに、仕事と介護の両立支援として、各種休暇制度の充実に加え介護セミナーを実施しており、

## 企業におけるダイバーシティの推進について (WLB施策を土台とした取組み事例)

それによって「治る過程の介護休暇の取得」という前向きな風土が社内にできつつあるというお話しは、とても興味深いものでした。

これまでの取組みを通じて、一部の人の利用に偏りがちな育児に特化し過ぎるのではなく、誰でも可能性のある介護の支援を進めることができること、またW(ワーク)とL(ライフ)を循環し、あくまで仕事を続けていくことを主軸とした施策を充実することがダイバーシティ推進のために重要なことを実感しているとのことでした。

講演後半には、研修会への参加者同士が、勤務先や顧客先のWLB推進の施策について意見交換する時間を設けていただきなど、普段あまり知る機会のない他社の生の声を聞くことのできる有意義な研修でした。

(広報委員：原 麻子)

# 平成26年度 第6回研修会

開催：平成26年11月13日(木)

場所：東京薬業健保会館

## 多様な正社員活用の留意点と就業規則見直しのポイント



講師

NAC社会保険労務士事務所  
主席コンサルタント  
特定社会保険労務士

岩崎 仁弥 氏

現在、「正社員」と付く言葉には、「限定正社員」、「勤務地限定正社員」、「ジョブ型正社員」など、様々あります。これらの違いはあるものの、総称ともいえる『多様な正社員』という言葉の正しい理解は、容易ではありません。

講師によれば、『多様な正社員』とは、働き方の多様化に着目した「社員区分」であることです。多様な正社員が注目される背景には、働き方の見直しを模索する我が国の事情があります。

具体的には、「①正規・非正規雇用の格差是正」、「②ワークライフバランス」、「③女性活用」、「④キャリア形成」という課題に対し、多様な正社員の導入・活用により社員区分の相互転換を促進する狙いがあるとのことです。また、実務面では、各企業における『多様な正社員』の制度設計と就業規則の整備がポイントとなります。従来の正

規・非正規の一国二制度的な考え方では、職務の空白もしくは重複を生み、効率的ではありません。

そこで、正規と非正規の間を埋めるために、多様な正社員制度を検討してはとの指摘がありました。非正規の雇用の不安定さは無期転換制度で解消し、正規の働き方の問題は多様な正社員制度との相互転換により解消するモデルです。『正規』-『多様な正社員』-『非正規』という三層モデルにより、『多様な正社員』が正規と非正規の間に橋をかけることで、社員区分の相互転換が仕組化され、多様な働き方の選択が可能となります。

最後に、多様な正社員制度の向こう側にあるものとして、「昭和型雇用の見直し」という、社会保険労務士の手による雇用イノベーションを起すことができる可能性に触れ、社会保険労務士へのエールで講演を締められました。(広報委員：上江 誠)

# 勤務等部会主催情報交流会

平成26年11月13日(木)、東京薬業健保会館において、千代田統括支部第6回研修会終了後、勤務等部会主催の情報交流会が開催されました。参加者が滞りなく



(グループ討議)

集まったため、予定より10分程度早く17時20分頃から開始となりました。参加者数は、勤務31名、開業等21名の計52名と、これまでになく多くの方にご参加いただきました。

冒頭、主催である勤務等部会の小委員会委員長市村公頼委員から本交流会についての簡単な説明があり、長崎明子委員の司会で始まりました。

まず、段下正志支部長から開会の挨拶があり、その後永井常男勤務等部会長の音頭で乾杯が行われました。

次に、市村公頼委員からグループ討議の進め方について具体的な説明があり、今回の交流会では、直近に行われた2つの研修会（「企業におけるダイバーシティの推進について」と「多様な正社員

活用の留意点と就業規則見直しのポイント」）を踏まえ、「企業における多様な働き方」というテーマで討議を行うことになりました。

グループ討議は、各テーブルごとに8人1組で行われました。それぞれが互いに初対面ということも多いので自己紹介から始まり、今回のテーマやそれに関連することについて順番に意見を出し、それに対して意見を述べ合う形式で進められ、活発な意見交換が行われました。私の属したグループでは、「パートタイマーを活用するための人事制度の改正」、「女性を活かすための社内の意識改革」などの意見が出て、それに対して社会保険労務士として何ができるなど様々な意見が出ました。

最後に、勤務等部会の大塚義巳副部会長の挨拶で閉会となり、楽しく有意義な情報交流会でした。

(広報委員：柏木直人)



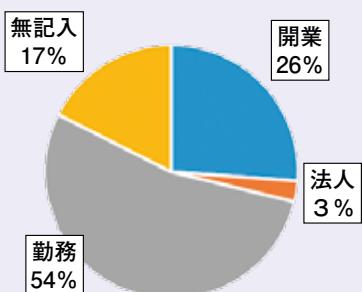
(閉会の挨拶風景)

## 支部ホームページ アンケート結果報告

平成26年9月3日の必須研修会におきまして、千代田統括支部のホームページ（以下、HP）を、会員の皆様にとってより利便性の高いものにするために、アンケートを実施しました。

研修参加総数459名中、302名の方にご回答をいただきました（回収率：約66%）。

図1 アンケート回収（登録区分比率）



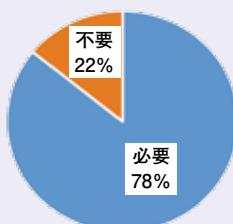
その結果、実に88%の方々が、HPをご覧になっているという結果となりました。

また、今後必要と思われる機能としては、図2・図3のような結果となりました。より詳細につきましては、支部HPをご覧ください。

図2 支部行事参加申込をHPからする機能



図3 研修資料等をHPから各自印刷して持参する機能



今回のアンケート結果を参考に、HP改良を検討していきたいと思います。ご協力ありがとうございます。

(IT委員会委員長：鈴木 啓之)

### 【お願い】

皆様の利便性と、支部の円滑な運営のために是非ともメールアドレスの登録をお願いいたします。以下のURLより簡単に登録できます。

<http://www.sr-ccs.com/>

# 新規入会者オリエンテーションを開催！

平成26年9月22日（月）、神田明神会館にて新規入会者オリエンテーション（平成25年7月～平成26年6月新規入会者又は所属者対象）を開催しました。来賓挨拶から始まり、組織の活動内容等の説明、自己紹介、新入会員と主催側先輩会員の熱意溢れる質疑応答がありました。新入会員の方々からいただいた自己PRや今後の抱負等の一部をご紹介します。新入会員の皆さん、今後ともよろしくお願ひいたします。



オリエンテーション風景

☆明るく楽しく前向きです。大学では教育（特に社会教育）を専攻し、前職では社員教育に携わっていたので、社員教育やセミナーが得意分野です。1つ1つの仕事に対し、感謝をしながら誠実に丁寧に取り組んでいきます。

【荒 久美子・開業】

☆様々な雇用形態を経験しているので、いろんな立場の方の視点に立てることが強みです。頼れる社会保険労務士として、周りの方々に喜んでいただける存在となれるよう頑張ります。

【岩瀬 昌子・開業】

☆法務畠で勤めてまいりましたので、得意分野は人事面の紛争、契約、DD（デューデリジェンス）等になります。とにもかくにも、「何でもやらせていただく」ことをモットーに頑張ってまいる所存です！ 【T・K・開業】

★平成14年に試験合格後、人事労務コンサルティング会社に3年間勤務、そして事業会社の経営陣のひとりとして人事労務の枠にとらわれない経営経験を約8年間積んできました。コミュニケーションやメンタルケアの分野に注力したいと考えております。

【神坂 直輔・開業】

★開業前は年金の勉強をして、年金相談員と社会保険の学校教育（ボランティア）を中心に考えていました。今後は開業医に特化した1号業務（電子申請）と労務相談を中心に活動していくたいと思っています。

【高野 宅己・開業】

☆問題解決までトコトン付き合える社会保険労務士を目指しています。定例会や研修等、支部活動に参加し始めてまだ2か月弱ですが、そこから得られた情報・人脈は有益で何にも代えがたいものと感じています。

【瀧澤 紀子・開業】

★人事部門を歩いてきた関係で、ライフプラン、年金相談、労災手続、就業規則作成等は、幾ばくかの経験があります。生涯の仕事として、開業いたしました。 【森 圭志・開業】

★建設会社の総務に勤務しております。業界柄、安全衛生や労災関係については実務経験もありますが、社会保険関連については入会を機に勉強していきたいと思います。

【Y・A・勤務等】

★この仕事を始めて5年が経過しますが、知識と経験の積み重ねが大切だと感じます。プロとして信頼される社会保険労務士になれるよう、日々努力していきたいと思います。

【木崎 尚樹・勤務等】

★社会保険労務士業務について、深く研鑽を積むことはもちろん、それだけに留まらず、他の事業についても勉強を重ね、マルチな場面で活躍していきたいと思っております。

【岸本 真介・勤務等】

★社会保険、特に健康保険法は得意分野です。企業の利益に貢献できるような労働保険や社会保険の活用、といった視点で勉強していきたいと思っています。 【M・T・勤務等】

★二十数年、年金・健康保険団体に勤務し、年金・健康保険業務と人事業務に携わってきました。今後はその知識をブラッシュアップしつつ、実践的な知識を身につけ、今後の独立開業に向けて準備を重ねていきたいと思います。

【藤田 久子・勤務等】

★特技は風水です。開業した際には、労務アドバイスにオフィス風水もプラスし、労使間にとつて快適な職場環境を作るきっかけや、商売繁盛へ導くことができるような社会保険労務士を目指したいと思っております。

【M・M・勤務等】



懇親会風景

## 初秋の鬼怒川散策と楽しい懇親会

平成26年9月26日(金)・27日(土)、1泊2日の管外研修旅行を実施しました。

場所は、栃木県の東武鉄道「鬼怒川公園駅」の目の前にある関東百貨店健康保険組合・鬼怒川保養所「きぬがわ」、管外研修としては初めての施設でした。

研修テーマは、「温故知新・歴史探訪/鬼怒川温泉町歩きツアー」。午後2時30分に保養所前に集合し、木の葉が色づき始めた初秋の鬼怒川の山並みを背景に、ツアー開始です。

癒し空間を創出するアート広場(滝見公園)、その先にあるスリル満点の樅岩大吊橋、戊辰の役古戦場跡等、地元ガイドさんによる案内は、その地ならではの話もあり、思わず感心しました。

夜の部は、天然温泉で日頃の疲れを癒した後、



懇親会です。くじ引きによる席指定で美味しい料理と飲み放題で相互に親睦を深め、いよいよ外れなしのbingo大会の開催です。「東京湾クルーズ、ペア券」「ふとんクリーナー raycop」、「牛肉セット」等々豪華賞品が満載でした。楽しい管外研修旅行でした。

(広報委員:石澤 清貴)

## 千代田統括支部の選挙結果について

支部会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申しあげます。

さて、平成26年10月22日に告示しました東京都社会保険労務士会理事候補者(支部長含む)及び代議員予定者の選挙につきましては、支部長理事候補者1名、理事候補者10名、及び代議員予定者28名にて、各定数と同数の立候補の届出がありました。

その結果、支部役員選出に関する運営細則第17条により、立候補者全員が無投票当選となりました。

た。

これを受けて、支部細則第9条に従い11月21日に東京社会保険労務士会会議室において、臨時支部会議が行われ、支部長理事候補者に味園公一氏が決定されたのをはじめ、全当選人が決定されました。

なお、当選された方々のお名前につきましては、過日、メール配信により告示するとともに、ホームページにも掲載しましたのでご確認ください。

(千代田統括支部選挙管理委員会委員長:小室 文菜)



## 第6回 懇陸ボウリング大会



平成26年11月25日(火)、東京ドームボウリングセンターにて、千代田統括支部懇陸ボウリング大会が行われました。開業・勤務等、参加者総数40名、1チーム4人の編成で、10組に分けてプレーしました。ストライクに歓喜する人、ガーターに肩を落とす人など様々でしたが、楽しく2ゲームをプレーしました。プレー終了後は、表彰式を兼ねた懇親会を開催しました。成績結果は次の通りです。

なお、成績上位者は、来年2月に行われる東京会ボウリング大会に選抜出場となります。皆さんの応援をよろしくお願いします。

(広報委員:石澤 清貴)

(敬称略)

- 個人戦 男性/優勝:浅井英憲 準優勝:味園公一  
女性/優勝:十佐近三生 準優勝:柏本和江
- 団体戦 優勝:第10組(長森信行、久保英信、  
春原繁、末松弘美)  
準優勝:第1組(半沢公一、岡崎和光、  
十佐近三生、毎熊典子)



(個人優勝)



(団体優勝)

## 政治連盟だより

平成26年11月13日、東京プリンスホテルにおいて、当統括支部政治連盟顧問である自由民主党東京都議会議員内田茂氏の後援会・クラブ21が主催する「東京の明日を語る会」が挙行され、当統括支部政治連盟幹事長とともに出席しました。

昨年も同様な催しが開催されたところですが、今年多くの出席者が集結し、盛大なものとなりました。

パネルディスカッションでは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、「安心・安全な都市づくり」の一環として交通インフラ等の整備や既存施設の改善を行い、国内外の来訪者の利便性を高めるとともに、これらをポジティブレガシー（有用な遺産）として維持し、開

催以後においても東京が「世界で一番」の都市として存在することを目指すことが語られました。

また、JR品川駅と田町駅間に位置し、車両基地があった地域を利用しての「品川開発プロジェクト」の始動、東京都版PMDA（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）や国際ビジネス環境の整備を国家戦略特区の活用により実現、さらに豊洲から青海地区におけるIR（統合型リゾート）とMICE（多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称）のための周辺整備について説明があるなど盛りだくさんの内容でした。

これらの政策について、東京都は向こう3か年の実施計画の工程表を発表して、具体的に展開していくとのことです。注目していきたいと思います。

（政治連盟支部会長 橋本 敬司）

## 新入会員を紹介します

平成26年7月14日～10月31日

| 入会年月日    | 氏名    | 種別   |
|----------|-------|------|
| H26.7.14 | 岩崎 政樹 | 法人社員 |
| H26.7.14 | 今 和弘  | 法人社員 |
| H26.7.14 | 中嶋 康彦 | 法人社員 |
| H26.8.1  | 安藤 幾郎 | 開業   |
| H26.8.1  | 岩田 貴行 | 開業   |
| H26.8.1  | 神坂 直輔 | 開業   |
| H26.8.1  | 高野 宅己 | 開業   |
| H26.8.1  | 瀧澤 紀子 | 開業   |
| H26.8.1  | 宮本 治雄 | 開業   |
| H26.8.1  | 色川 良治 | 勤務等  |
| H26.8.1  | 大類 照久 | 勤務等  |
| H26.8.1  | 加藤 義光 | 勤務等  |
| H26.8.1  | 杉本 健  | 勤務等  |
| H26.8.1  | 長尾 優子 | 勤務等  |
| H26.8.1  | 南 秀樹  | 勤務等  |

| 入会年月日    | 氏名     | 種別  |
|----------|--------|-----|
| H26.8.8  | 三浦 裕子  | 勤務等 |
| H26.8.21 | 新川 秀吉  | 開業  |
| H26.9.1  | 石橋 正紹  | 開業  |
| H26.9.1  | 橋本 実花  | 勤務等 |
| H26.9.1  | 藤間 淳   | 勤務等 |
| H26.9.1  | 俞 英珠   | 勤務等 |
| H26.9.1  | 米川 美紀  | 勤務等 |
| H26.9.4  | 藤井 基樹  | 開業  |
| H26.9.10 | 安藤 陽子  | 勤務等 |
| H26.9.24 | 森 崇    | 勤務等 |
| H26.9.30 | 鍋田 岳男  | 開業  |
| H26.10.1 | 稻見 誠一  | 開業  |
| H26.10.1 | 宇田川 弥希 | 開業  |
| H26.10.1 | 榎 裕之   | 開業  |
| H26.10.1 | 石川 瞳子  | 勤務等 |

| 入会年月日     | 氏名    | 種別  |
|-----------|-------|-----|
| H26.10.1  | 岡 俊隆  | 勤務等 |
| H26.10.1  | 玄地 幸寛 | 勤務等 |
| H26.10.1  | 徳永 寛  | 勤務等 |
| H26.10.1  | 中島 真一 | 勤務等 |
| H26.10.1  | 日高 浩一 | 勤務等 |
| H26.10.1  | 平野 純  | 勤務等 |
| H26.10.1  | 水出 真以 | 勤務等 |
| H26.10.1  | 宮崎 史  | 勤務等 |
| H26.10.6  | 金田 文彦 | 勤務等 |
| H26.10.24 | 斎藤 隆士 | 勤務等 |
| H26.10.27 | 福本 祐子 | 勤務等 |
| H26.10.29 | 黒田 美江 | 開業  |
| H26.10.31 | 北岡 大介 | 開業  |

## あとがき

明けましておめでとうございます。皆様には益々ご清栄のこととお慶び申しあげます。

私はといえば、昨年からこの新しい一年をどんな年にしようかと思案しておりました。

社会保険労務士になりたくて一心不乱に勉強していた頃と、少々浮かれ気味で過ごしてきたこの数年間を思い起こしながら、改めてしっかり地に足つけて新たな目標を掲げ邁進していかねばならないと気づきました。

“Where there's a will, there's a way.” 「意志あらば道は開ける」はず・・・！今の想いを大切に、自己研鑽に励みたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

(広報委員：長崎 明子)

謹んで新年のお慶びを申しあげます。本年の皆様のご健康とご多幸をお祈り申しあげます。

寒い季節となりましたが、朝の雲ひとつ無い晴天や綺麗に瞬く星空を眺めながら、この時期特有の空気の透明さに心を洗われる趣を感じることも素敵かなと思う今日この頃です。

私事、社会保険労務士2年目となり、広報委員として参加する機会をいただきました。少しづつ会報の記事を担当しながら、今回初めて編集に携わることとなりました。作業を進めていく中で、改めて支部の活動や想いを皆様にお伝えしていくことの大切さを実感しました。これからも、微力ながら千代田統括支部の活動に貢献できればと思います。

(広報委員：浅井 英憲)